

# 県東

千葉日報WEB  
http://www.chibanippo.co.jp  
メールアドレス  
c-nippo@chibanippo.co.jp

成	田	取	香	成
0476(32)58710	0476(32)58710	0478(54)26699	0479(24)86667	0479(24)86667
0473(48)59474	0473(48)59474	0473(48)59474	0473(48)59474	0473(48)59474

## 終末期の患者に安心を

### 「緩和ケア病棟」認可施設に

聖隷佐倉市民病院  
がんなど終末期の患者を対象にした「緩和ケア」に取り組んできた佐倉市江原台の聖隷佐倉市民病院(南葛平病院長、四百床)が、厚労省の施設基準を満たした「緩和ケア病棟」として認可された。県内では同病院を含め五施設が認可を受けており、印旛保健医療圏では初めて。



がんなど終末期の患者を対象にした緩和ケアに当たる関谷医師(右)と石村看護課長(左)聖隷佐倉市民病院・緩和ケア病棟検査室

## 現代食事考

<836>

北海道洞爺湖サミット開幕日で七夕に当たる七日、家の明かりを消して地球にやさしい暮らしを家族で見つめ直してみよう、と、佐倉市ユウカリが丘地区を関係する山万(本社・東京都中央区)は、同地区の全世帯(約五千七百世帯)に、同日午後八時から同十時までの間のライトダウンを呼び掛けている。

## 家族で環境考えて

### 7日にライトダウン呼び掛け

同企画は、太陽光や風力、水力など自然エネルギーによって発電された「酸化炭素排出量の少ない「グリーン電力」の認知、促進を目的とするプロジェクト「二億人のグリーンパワー」の一環。プロジェクトに賛同する同社は、地球温暖化防止など環境やグリーン電力について考えるきっかけになればと、住民の参加を呼び掛ける。



七夕飾りの主な七夕を飾り掛ける。四日には同地区全戸にチラシを配布したほか、五日から同社運営の街を紹介する施設「街キアラ」で、キャンパイル(六日まで、先着千入)した。当日は家族でうさぎくで過ごす予定という同地区に住む主婦(左)は「子どもたちも普段と違う空気を味わえるので、今から楽しみにしています」と話していた。

緩和医療科部長の関谷雄一医師は「現在がんと闘っている佐倉周辺の患者と家族が「最後は聖隷がある」と、安心して治療に専念してもらおう意味でも、最期までの時間を豊かにする手伝いができれば」と語った。同病院は二〇〇五年七月、一般病棟の一部で「緩和ケア」を実施。地域二

人の高まりから昨年六月、一般病棟を改修して、個室十八床、談話室、家族用台所などを備えた専用病棟(約千四百五十平方メートル)を、現在、専任医師一人、看護師十七人らスタッフ計二十二人が配置され、施設基準を満たした手厚い治療と季節ごとの催しなどで患者の心のケアに努めている。また同病院では七月二十六日、市内や近隣の医療機関など約百団体が参加する「緩和医療交流会」を予定しており、関谷医師と石村和美看護課長は「患者の選

択肢が広がるよう連携を呼び掛けた」と話している。今回の認可で、入院料請求方法は、薬、検査、処置などの診療行為の合計額(約千四百五十平方メートル)「出来高制」から、診療行為により日額を設定した「包括制」に変更された。夏野菜のチャリティーバザー きょう、銚子市役所前チャリティーバザーは六日午前十時から、市役所前特設会場で開催される。銚子市生産組織協議会、各生産農家組合の主催。スイカ、メロン、トマト、

茨城が広がるよう連携を呼び掛けた」と話している。今回の認可で、入院料請求方法は、薬、検査、処置などの診療行為の合計額(約千四百五十平方メートル)「出来高制」から、診療行為により日額を設定した「包括制」に変更された。夏野菜のチャリティーバザー きょう、銚子市役所前チャリティーバザーは六日午前十時から、市役所前特設会場で開催される。銚子市生産組織協議会、各生産農家組合の主催。スイカ、メロン、トマト、

スイートコーン、レトルト落花生などを格安価格で販売。売り上げの一部は市福祉協議会に寄付する。問い合わせはJ.A.ばら(0479-2319600)。

県内の特産品紹介 香取道の駅めぐりも 香取市沢の道の駅めぐりも、千葉県内の特産品を紹介する「千産千消フェ



スイートコーン、レトルト落花生などを格安価格で販売。売り上げの一部は市福祉協議会に寄付する。問い合わせはJ.A.ばら(0479-2319600)。

「こぼっ」は房州の方言で「大きい」という意味。七〇坪以上の大型のシイラを対象に、ヒギナーからベテランまで、プラダのキャスティングゲームで個人戦を行う。

午前四時半から受け付け開始、午後二時閉場。参加費一万円(船代、保険料含む)。定員七十人程度(先着順、募集人員に達した時点で締め切り)。申し込み、ルールや禁止事項など詳しい問い合わせは大会窓口の「サウスエド(0478-70515)」。共栄丸(0478-70515)。

「こぼっ」は房州の方言で「大きい」という意味。七〇坪以上の大型のシイラを対象に、ヒギナーからベテランまで、プラダのキャスティングゲームで個人戦を行う。

午前四時半から受け付け開始、午後二時閉場。参加費一万円(船代、保険料含む)。定員七十人程度(先着順、募集人員に達した時点で締め切り)。申し込み、ルールや禁止事項など詳しい問い合わせは大会窓口の「サウスエド(0478-70515)」。共栄丸(0478-70515)。

吹き流し、裁縫の上達を願って、糸を模した紙の飾りを飾ります。 普物に着る物に感謝を

「こぼっ」は房州の方言で「大きい」という意味。七〇坪以上の大型のシイラを対象に、ヒギナーからベテランまで、プラダのキャスティングゲームで個人戦を行う。

汗を流しながら、交流の輪を広げたい写真。 障害者と健常者が交流を深めよう、香取市社会福祉協議会が大会を主催。 昨年に続き二回目の開催で、同市ボランティア連絡協議会や千葉陽明高校の生徒らが協力した。

「こぼっ」は房州の方言で「大きい」という意味。七〇坪以上の大型のシイラを対象に、ヒギナーからベテランまで、プラダのキャスティングゲームで個人戦を行う。

「こぼっ」は房州の方言で「大きい」という意味。七〇坪以上の大型のシイラを対象に、ヒギナーからベテランまで、プラダのキャスティングゲームで個人戦を行う。